

第3学年1組保健体育科学習指導案

日 時 12月7日(木) 第5限
場 所 3年1組教室(3F)
指導者 T1

1. 単元名 健康な生活と疾病の予防3 (保健・医療機関の利用)

2. 単元目標

(1) 感染症の予防及び個人の健康を守る社会の取組について、理解できるようにする。

【知識及び技能】

(2) 感染症の予防及び個人の健康を守る社会の取組に関わる事象や情報を基に課題を発見し、健康のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりする視点から解決を目指して科学的に思考・判断して、それらを他者に伝えたり、表したりすることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

(3) 感染症の予防及び個人の健康を守る社会の取組について関心を持ち、学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①感染症は、病原体が主な要因となって発生し、感染や発病には人の条件だけでなく、自然環境や社会環境も関わっていることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>②性感染症の予防には、性的接触を避ける、コンドームを使用するなど、感染のリスクを軽減する方法を身に付けることが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>③エイズの予防には、性的接触を避ける、コンドームを使用する、感染者や他人の血液などには触れないなど、HIV感染のリスクを軽減する方法を身に付けることが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>④医薬品を効果的に使用するためには、医師や薬剤師の指示に従い、注意書きや説明書をきちんと読んで正しく使用することが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤健康の保持増進、疾病やけがからの回復には、地域の保健センターや保健所などの保健機関や医療機関を利用することが有効であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑥健康の保持増進や疾病の予防のためには、健康的な生活行動などの個人の取組とともに、健康診断や健康相談、予防接種などの社会の様々な取組によって解決が図られていることを、言ったり書いたりしている。</p>	<p>①健康な生活と疾病予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p>	<p>①自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組もうとしている。</p>

3. 指導にあたって

(1) 教材観

小学校では、健康の大切さや健康によい生活、病気の起こり方や予防などについて学習した。本単元では、人間の健康は、主体と環境が関わり合って成り立つこと、健康を保持増進し、疾病を予防するためには、それにかかわる要因に対する適切な対策があることについて理解できるようにする。また、健康な生活と疾病の予防に関する課題を発見し、その解決に向けて思考し、判断するとともに、それらを表現することができるようにする。さらに、自他の健康に関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復に主体的に取り組む態度を身につける。そこから自らの生活を見直し予防について考えることで、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養うことができる単元である。

本時扱う疾病のがんは、1981年より日本人の死因第1位である。現在もがんによる死亡者数は増加傾向である。2年時にはがんの予防について、がんの要因や予防について生活習慣との関連から1次予防の視点を中心に学習してきた。本単元では、がんを題材とすることで、2次予防として保健機関や医療機関の利用することが、自らの健康を適切に管理していくために有効であるということや個人の主体的な努力と社会のさまざまな取り組みにより解決が図られていることをより具体的に理解することができる。

(2) 生徒観

生徒アンケートより

質問項目	肯定意見
早期発見すれば、がんは治りやすい。	94.4%
体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくてもよい。	5.8%
自分はがんにならないと思う。	27.7%
がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。	94.4%
がんの治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである。	44.4%
がんになっても生活の質を高めることができる。	38.8%

アンケートの結果から生徒はがんについて学習することは、健康な生活を送るために役立つことであると考えている。また、早期発見・早期治療が有効であることも理解している。これらは昨年度の学習から身につけた知識をもとに、生徒ががんに対して答えたものであると考えられる。

しかし、がんの治療方法やがんになってからの生活について聞かれた項目については、意見が割れていることから、2、3次予防については、あまり理解を深められていないものと考えられる。がん罹患することで生活の質を保つことができなくなるなどマイナスイメージを強く持っていることが伺える。

(3) 指導観

本単元では疾病は主体と環境が関わり合いながら発生するが、疾病はそれらの要因に自らが適切な対策を取ることや保険・医療機関、医薬品を有効に利用することなどによって予防できること、そして、社会的な取り組みも有効であることを理解しながら、疾病の予防に関する課題を発見し、解決していくことが重要である。そのために得た知識をもとに、自らの生活を振り返りながら常に自分事として疾病の予防について考えることができるようにしていく。また、地域の取り組みや地域の保健・医療機関についても調べながら、自らの生活と関連させながら考えを深めていく。

本時はがんを題材として2・3次予防の視点からがんについての課題を考えて行く。その際、ゲストティーチャーからより具体的な話を聞くこと、生徒からの疑問の答えを聞くことやゲストティーチャーからの質問に答えることなどを通して、多角的な視点からがんについて正しく知り、共感を持って、考えを深めることができるようにしていく。

5. 単元計画（総時数9時間 本時8／9）

配時	小単元名	主な学習活動	評価の観点			評価規準（評価方法）
			知	思	態	
1	感染症の広がり方	<ul style="list-style-type: none"> 生活を振り返り、インフルエンザが広がりやすい施設やその理由について話し合う。 資料などを基に、様々な感染症の病原体の種類と感染経路について調べ、整理して説明する。 資料を読み取って、感染症が広がる条件について考え、説明する。 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。 	●			<ul style="list-style-type: none"> 感染症は、病原体が主な要因となって発生し、感染や発病には人の条件だけでなく、自然環境や社会環境も関わっていることを、言ったり書いたりしている。 【知】
2	感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザにかかる人とかからない人の違いについて話し合う。 自分で気を付けていることなどから、感染を防ぐための対策や回復のための方法を考え、整理する。 「活用する」の事例から、「緊急事態宣言」の内容と有効だった理由について考え、発表し合う。 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。 		○		<ul style="list-style-type: none"> 健康な生活と疾病予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【思判表】
3	性感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> 知っている性感染症の名称などをチェックし、性感染症について話し合う。 資料を基に、性感染症の種類と症状、感染者数などについて調べ、整理する。 性感染症の予防対策について調べ、整理する。 「活用する」の表を記入しながら、他の感染症と比較した性感染症の特徴を整理し、説明する。 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。 	●			<ul style="list-style-type: none"> 性感染症の予防には、性的接触を避ける、コンドームを使用するなど、感染のリスクを軽減する方法を身に付けることが必要であることを、言ったり書いたりしている。 【知】
4	エイズの予防	<ul style="list-style-type: none"> エイズという言葉を見たり聞いた場所や機会について話し合う。 HIV(ヒト免疫不全ウイルス)とエイズという病気の特徴について調べ、整理する。 HIV感染の予防について整理し、説明する。 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。 	●			<ul style="list-style-type: none"> エイズの予防には、性的接触を避ける、コンドームを使用する、感染者や他人の血液などには触れないなど、HIV感染のリスクを軽減する方法を身に付けることが必要であることを、言ったり書いたりしている。 【知】
5	医薬品の利用	<ul style="list-style-type: none"> 飲み薬に関する問いに○×で答え、自身の知識の誤解や曖昧さを確認する。 医薬品には多様な形状、使用量や飲み方があることを調べ、その理由について話し合う。 医薬品は、注意書きや説明書を基に正しく使用する必要があることや、お薬手帳の役割について考え、整理する。 「活用する」で、風邪薬の使用上の注意についてその理由を考え、発表し合う。 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。 	●			<ul style="list-style-type: none"> 医薬品を効果的に使用するためには、医師や薬剤師の指示に従い、注意書きや説明書をきちんと読んで正しく使用することが必要であることを、言ったり書いたりしている。 【知】

6	保健・医療機関の利用①	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を振り返り、けがや病気などのときの対処の仕方について話し合う。 ・これまでの経験や資料を基に、医療機関の役割の違いや利用の仕方について調べ、整理する。 ・これまでの経験や資料を基に、保健機関の役割の違いや利用の仕方について調べ、整理する。 ・「活用する」で、長期にかかりつけ医を利用する利点について考え、発表し合う。 ・学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。 	●		<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進、疾病やけがからの回復には、地域の保健センターや保健所などの保健機関や医療機関を利用することが有効であることを、言ったり書いたりしている。 <p>【知】</p>
7	健康を守る社会の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・大人が健康診断を受ける機会や場所について話し合う。 ・生活習慣病の予防等に健康診断が有効である理由について考え、整理する。 ・人々の健康を守るための社会においての様々な取組について調べ、説明する。 ・「活用する」でインフルエンザの予防のための個人、地域、社会の取組について調べ、発表し合う。 ・学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。 	●		<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進や疾病の予防のためには、健康的な生活行動などの個人の取組とともに、健康診断や健康相談、予防接種などの社会の様々な取組によって解決が図られていることを、言ったり書いたりしている。 <p>【知】</p>
8	保健・医療機関の利用②	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果から、3年1組のがんについてのイメージ確認し課題をつかむ。 ・ゲストティーチャーの方に質問をし、がんについての知識を深める。 ・学習課題「がんとともに生きる社会において、幸せに暮らしていくためには、何が必要だろうか？」について考える。 	●		<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 <p>【思判表】</p>
9	保健の学習を振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・健康を保持増進するために、自分の行っていることについて発表し合う。 ・主体的な取組の必要性について話し合う。 ・ヘルスプロモーションの考え方について調べ、説明する。 ・「まとめ」で、選択した健康課題の解決に対する自己の取組を考え、発表し合う。 	●		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組もうとしている。 <p>【態】</p>

6. 本時の学習（第8時）

- (1) ねらい がんの予防について課題を発見し、その解決に向けて思考し、判断するとともに、それらを表現することができる。
- (2) 評価規準 がんの予防について課題を発見し、その解決に向けて思考し、判断しているとともに、それらを表現している。 【思考力・判断力・表現力等】
- (3) 準備 ワークシート・クロムブック・スライド
- (4) 学習過程

段階 配時	学 習 内 容	指導上の留意点
つかむ・意識する (10分)	<p>1. アンケートの結果から、3年1組のがんについてのイメージ確認し課題をつかむ。</p> <p>○以前、がんについてのアンケートを行いました。3年1組のがんに対するイメージはどのような物だったでしょうか？</p> <p>*がんになったら生活の質を高めることができないと感じている人が多いな。</p> <p>*がんの治療方法の決定について意見は、意見が割れているな。</p> <p>○1次予防の大切さは皆さん理解しているようですが、実際にがんになったときの、生活や治療方法などについては、知らないことが多いようですね。</p> <p>○今日はゲストティーチャーの方から話を聞き、がんとともに生きるとはどういうことか、考えていきましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「がん」と共に生きる社会で、幸せに暮らしていくには、何が必要だろうか？</p> </div>	<p>●アンケートの結果から、1次予防の大切さについては、理解しているが、2,3次予防については意見が分かれることを確認しながら、本時の課題をつかませる。</p>
考える (15分)	<p>2. ゲストティーチャーの紹介。</p> <p>○久田充子さん →がんの経験者。 →はなうめに勤務し、自らもがん患者やその家族をサポートしている。</p> <p>3. ゲストティーチャーの方に質問をし、がんについての知識を深める。</p> <p>○久田さんに聞いてみたいことはありませんか？</p> <p>*がんになって大変だったこと、つらかったこと。</p> <p>*がんを告げられた時の思い。</p> <p>※アンケートの結果から、久田さんは生徒に聞いてみたいことがあれば質問してもらおう。</p>	<p>●事前に考えた質問内容をもとに、質問をしていく。似たような質問については、教師側で紹介しながら内容が重複しないようにする。</p>

<p>深める (15分)</p>	<p>4. 学習課題「がんとともに生きる社会で、幸せに暮らしていくためには、何が必要だろうか?」について考える。 (ジャムボード) ○今までのがんについての学習や久田さんのお話を聞いて、学習課題に対する自分の意見を考えてみましょう。 *がんに対する正しい知識を得たうえで、予防に努めることが大切。 *検診しやすい環境づくりをすすめることが大切。 *がんに対してマイナスイメージはあるが、正しく理解することが大切。 ○生徒の意見を見て、久田さんに感想や気になった意見を伺う。</p>	<p>◎がんの予防について課題を発見し、その解決に向けて思考し、判断しているとともに、それらを表現している。 【思判表①】 (発言, ジャムボード) ◆自分の思いを素直に書けるように、間違えはないということ伝える。</p>
<p>まとめる (10分)</p>	<p>5. 振り返り *がんになっても自分のとらえ方次第で前向きに生きていけると感じた。 *もしかしたら、がんになってしまうかもしれないが、病院や医療機関についてよく知り活用していくことが大切だと感じた。 G:最後に中学生へのメッセージをいただく。</p>	<p>●本時の学習から自分の生活にどのように生かしていきたいか、視点をもたせる。 ●2名程度振り返りを紹介してもらう。</p>

●指導の留意点 ◆支援 ◎評価 GT:ゲストティーチャー